慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	若手ベンチャーキャピタリストに価値はあるか
Sub Title	
Author	池田, 颯(Ikeda, Hayate) 清水, 勝彦(Shimizu, Katsuhiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2022
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2022年度経営学 第3949号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002022-3949

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（　　2022　年度）

論文題名

若手ベンチャーキャピタリストに価値はあるか

主　査	清水 勝彦
副　査	小幡 績
副　査	村上 裕太郎
副　査	鈴木寛（東京大学・慶應大学教授）
副　査	牧 兼充（早稲田大学大学院准教授）

氏　名	池田颯

論 文 要 旨

所属ゼミ	清水勝彦 研究会	氏名	池田 颯

（論文題名）

若手ベンチャーキャピタリストに価値はあるか

（内容の要旨）

本稿では若手ベンチャーキャピタリストの価値について若手ベンチャーキャピタリストと若手ベンチャーキャピタリストから出資を受けている起業家（CEO）の双方からインタビューを行い明らかにする。

近年、日本では若手ベンチャーキャピタリストが増加しており、新卒でベンチャーキャピタリストになる例も増加している。これは海外ではあまり例がない。一般的にベンチャーキャピタリストは年齢が高く経験があるほうがベンチャーキャピタリストとしての価値が高いとされてきた。そして、若手ベンチャーキャピタリストの価値は起業前後の優秀な若者（大学の同級生など）を安い労働力で見つけるソーシングのみに限ると言われてきた。しかしシード期のソーシング活動以外にも若手ベンチャーキャピタリストに価値があるのではないかと考え研究を進めた。

若手ベンチャーキャピタリスト（20代、20代若手CEOの会社に1社以上に出資をしている、投資総額1億円以上、直属の上司がパートナーもしくは本人がパートナー）と若手ベンチャーキャピタリストから出資を受けている起業家（企業価値2億円以上、2社以上から出資を受けている）の双方からインタビューを行った。その結果、ベンチャーキャピタリストのハンズオンの価値である（「戦略立案」「精神的支援」「ファイナンス」「人材支援」「経営管理」）（長谷川2004）における精神的支援についてと顕在化していない課題やプライベートな話題を相談する際に若手起業家と若手ベンチャーキャピタリストの組み合わせ時は価値が高い可能性があることが示唆された。
起業家は自信があり、事業を進めるためにはどんなアドバイスも受け入れ、年齢も関係ないというスタンスであることが多い。実際には、起業家は自信（有能感）があり、事業を進めるためにはどんなアドバイスも受け入れられるわけではない可能性があるため、全てを曝け出さずに自分を守りながら相談できる範囲でアドバイスを求めている可能性がある。そのため若手起業家にとってシニアベンチャーキャピタリストと異なる信頼（報酬期待ではなく対等な関係）で結ばれた年齢が近いベンチャーキャピタリストの方が相談しやすい。近年起業家のメンタルヘルスについての注目度が上がっているが抜本的な解決策は見つかっていない。これらの問題の一つの解決策に若手ベンチャーキャピタリストが挙げられる可能性がある。

この結果と示唆を踏まえ若手起業家がベンチャーキャピタリストから調達を受ける際のVCポートフォリオの組み方として従来のVCポートフォリオに加えて精神的支援(顕在化していない課題を相談可能で、リターンを前提にしない信頼関係に基づいたパートナーシップ)の定義をより広げた形のポートフォリオの組み方を提案する。